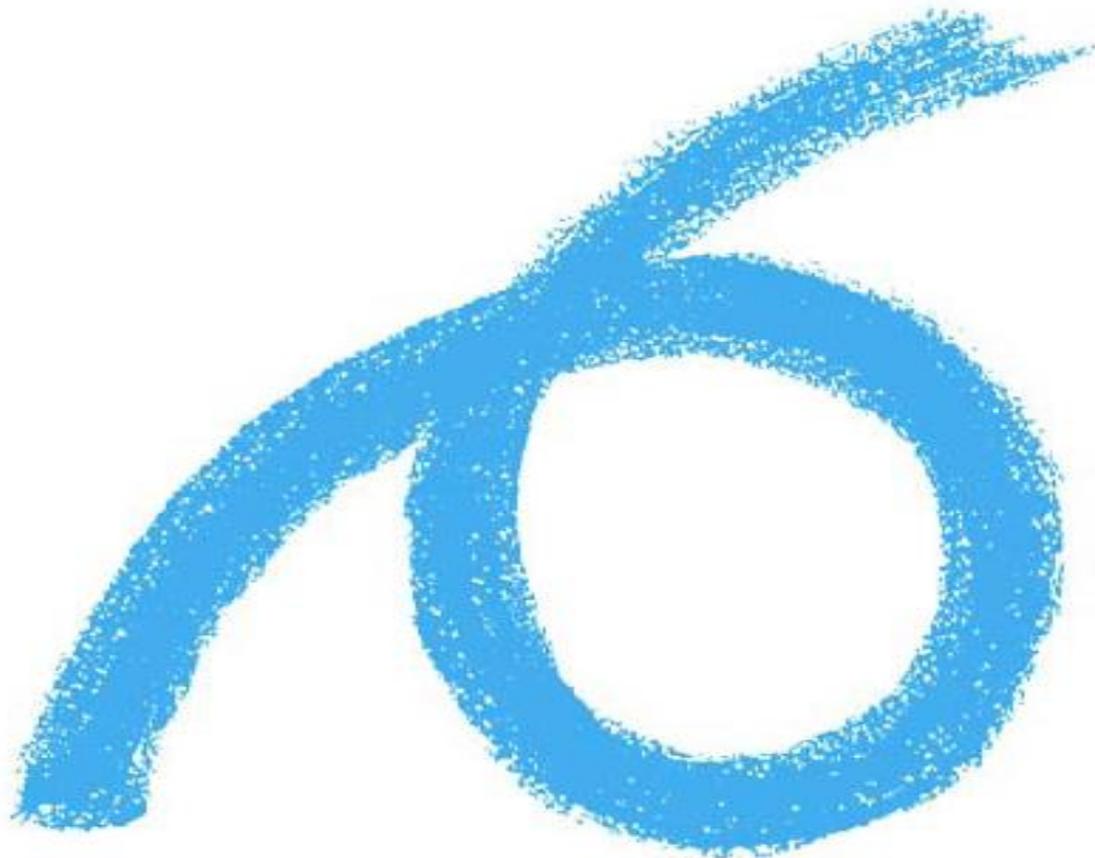


令和5年3月期 第2四半期 決算概要

～お客様と東和銀行のSDGs(持続可能な発展目標)の推進～



株式会社 東和銀行

令和5年3月期 第2四半期 決算概要

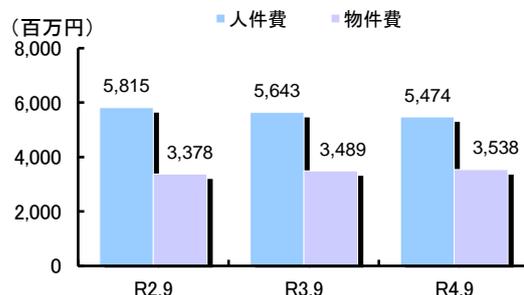
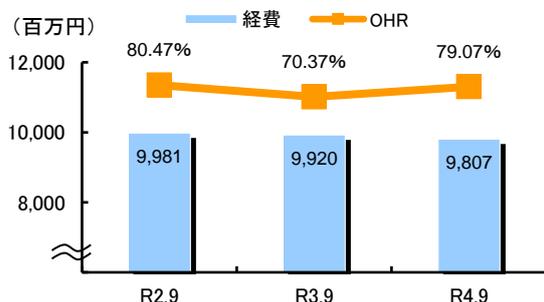
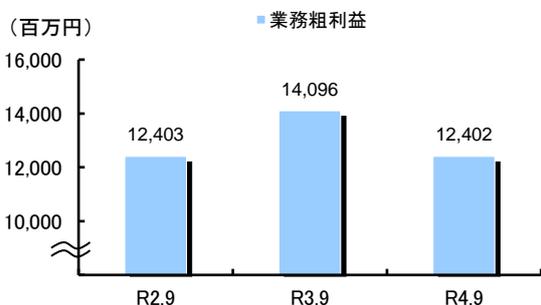
1. 損益の状況

令和5年3月期第2四半期における損益状況は、本業の収益力を示すコア業務純益が26億2百万円、経常利益は25億24百万円、中間純利益は29億59百万円となりました。

《単体》

(単位:百万円、%)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期	
			第2四半期	前年同期比
業務粗利益	12,403	14,096	12,402	▲ 1,694
資金利益	11,437	11,771	11,222	▲ 548
役務取引等利益	922	1,202	1,152	▲ 50
その他業務利益	42	1,122	27	▲ 1,095
経費(除く臨時処理分)(▲)	9,981	9,920	9,807	▲ 113
OHR(業務粗利益経費率)	80.47	70.37	79.07	+ 8.70
うち人件費(▲)	5,815	5,643	5,474	▲ 168
うち物件費(▲)	3,378	3,489	3,538	+ 49
コア業務純益	2,422	3,530	2,602	▲ 928
一般貸倒引当金繰入額(▲)	831	▲ 1,285	▲ 518	▲ 766
業務純益	1,590	5,461	3,114	▲ 2,346
臨時損益	1,099	▲ 2,016	▲ 589	+ 1,426
うち不良債権処理額(▲)	596	4,363	1,395	▲ 2,967
うち償却債権取立益	94	148	319	+ 170
うち株式等関係損益	1,250	1,817	35	▲ 1,782
経常利益	2,689	3,444	2,524	▲ 919
特別損益	▲ 120	▲ 107	1,025	+ 1,132
法人税等合計(▲)	943	1,230	591	▲ 639
中間純利益	1,625	2,106	2,959	+ 852



2. 主要勘定の状況

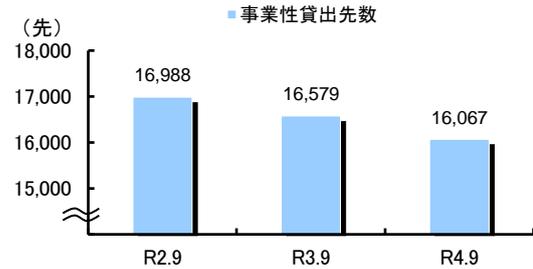
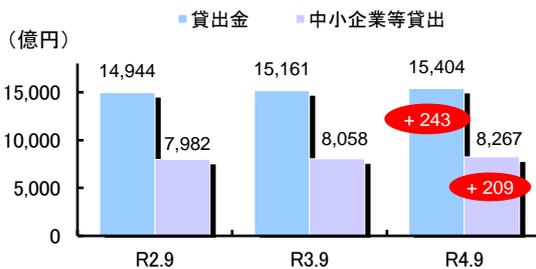
(1) 貸出金

貸出金は、主に中小企業等に対する「真の資金繰り支援」に取り組んだ結果、期末残高は前年同期比243億円増加の1兆5,404億円となりました。
 上記から、中小企業貸出については、期末残高は前年同期比209億円増加の8,267億円となりました。
 また、事業性貸出先数について、当行はコロナ禍における「真の資金繰り支援」に注力していることから、自然解消もあり、前年同期比512先減少の16,067先となりました。

《単体》

(単位: 億円、先)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
	貸出金(末残)	14,944	15,161	15,404
うち中小企業等貸出	7,982	8,058	8,267	+ 209
事業性貸出先数	16,988	16,579	16,067	▲ 512



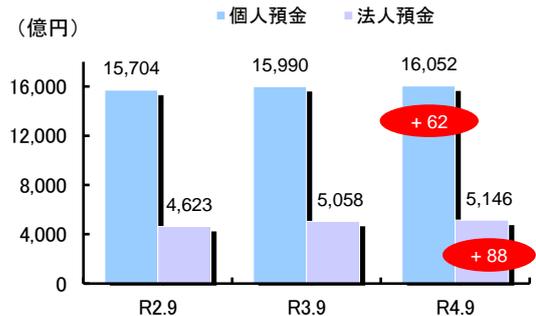
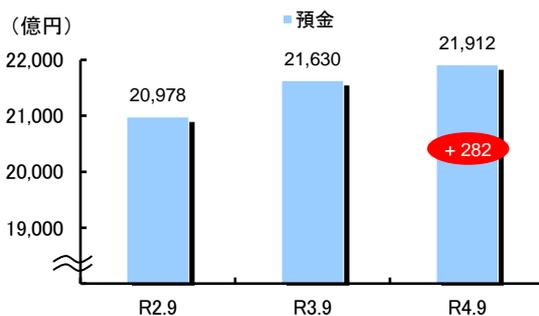
(2) 預金

預金は、個人・法人とも順調に増加し、期末残高は前年同期比282億円増加の2兆1,912億円となりました。

《単体》

(単位: 億円)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
	預金(末残)	20,978	21,630	21,912
うち個人	15,704	15,990	16,052	+ 62
うち法人	4,623	5,058	5,146	+ 88



(3) 預り資産

投資信託は長期的な資産形成支援に取り組んだことより販売額は128億円、純資産残高は751億円となりました。生命保険等の販売額は85億円、残高は1,407億円となり、また、国債等公共債の販売額は2億円、残高は27億円となりました。

《単体》

(単位:億円)

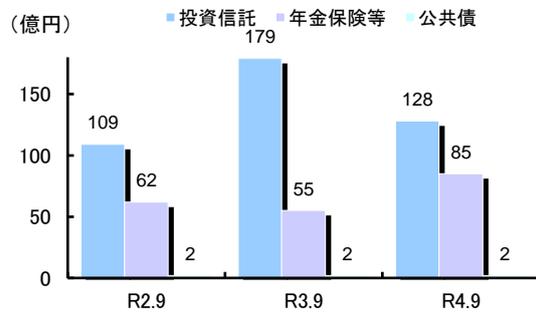
		R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
販売額	投資信託	109	179	128	▲ 50
	生命保険等	62	55	85	+ 30
	公共債	2	2	2	0

《単体》

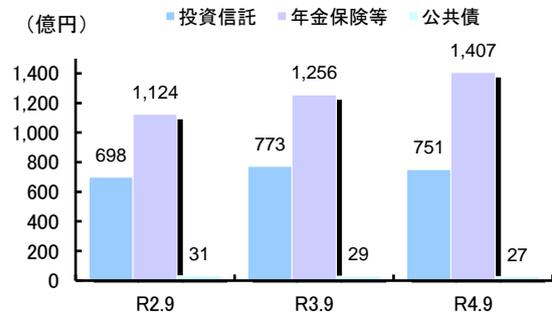
(単位:億円)

		R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
残高	投資信託	698	773	751	▲ 21
	生命保険等	1,124	1,256	1,407	+ 150
	公共債	31	29	27	▲ 1

販売額



残高



(4) 有価証券

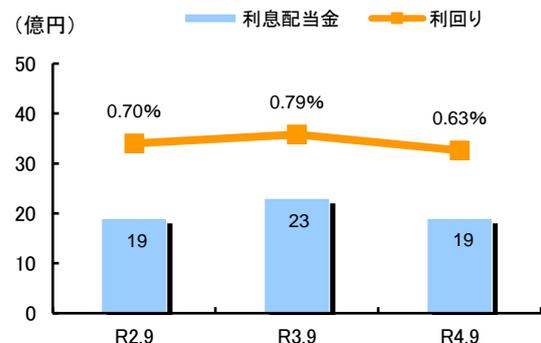
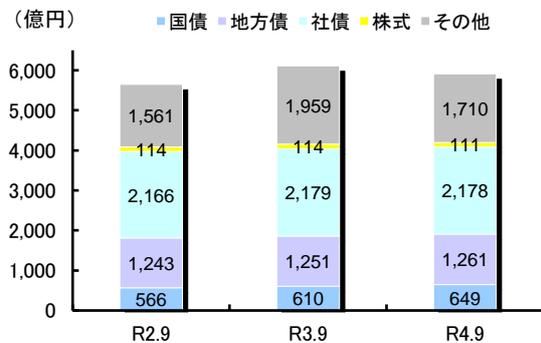
有価証券は、継続的な運用見直しを行った結果、期末残高は前年同期比204億円減少の5,910億円となりました。

《単位》 (単位: 億円)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
有価証券残高	5,652	6,115	5,910	▲ 204
国債	566	610	649	+ 38
地方債	1,243	1,251	1,261	+ 9
社債	2,166	2,179	2,178	▲ 1
株式	114	114	111	▲ 2
その他	1,561	1,959	1,710	▲ 248

《単位》 (単位: 億円、%)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
有価証券利息配当金	19	23	19	▲ 4
有価証券利回り	0.70	0.79	0.63	▲ 0.16



(5) 有価証券評価損益

有価証券評価損益は、内外金利の上昇を主な要因として、前年同期比191億円減少し、102億円の含み損となりました。

《単位》 (単位: 億円、%)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
満期保有目的	2	2	1	0
子会社・関連会社株式	-	-	-	-
その他有価証券	107	86	▲ 104	▲ 190
株式	29	24	18	▲ 5
債券	72	56	▲ 36	▲ 92
その他	5	6	▲ 86	▲ 93
合計	109	88	▲ 102	▲ 191

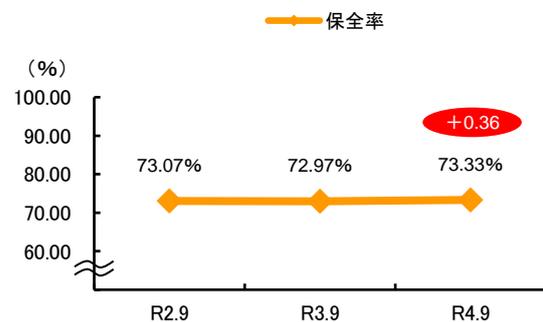
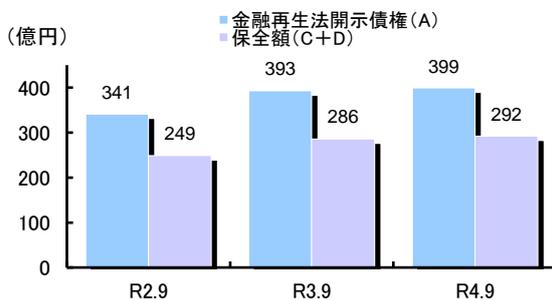
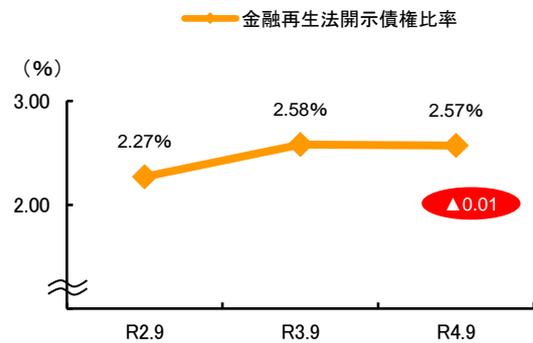
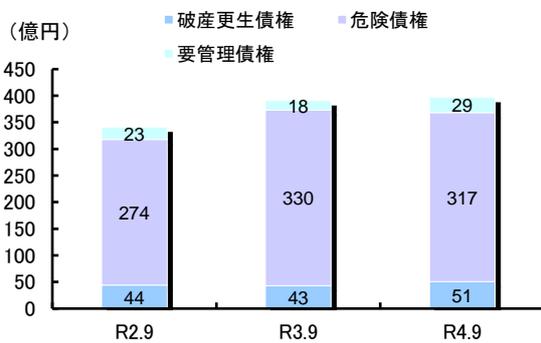
3. 不良債権の状況

金融再生法開示債権比率は、前年同期比0.01ポイント低下し、2.57%となりました。

《単体》

(単位:億円、%)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
破産更生債権	44	43	51	+ 8
危険債権	274	330	317	▲ 12
要管理債権	23	18	29	+ 10
小計(A)	341	393	399	+ 5
正常債権	14,663	14,830	15,102	+ 272
合計(B)	15,004	15,223	15,501	+ 277
金融再生法開示債権比率(A/B)	2.27	2.58	2.57	▲ 0.01
担保保証による保全額(C)	212	219	236	16
貸倒引当金(D)	37	67	56	▲ 11
保全率(C+D)/(A)	73.07	72.97	73.33	+ 0.36



4. 自己資本比率

自己資本比率は、10.49%（バーゼルⅢ国内基準）となりました。

《単体》

(単位: %)

	R3年3月期 第2四半期	R4年3月期 第2四半期	R5年3月期 第2四半期	前年同期比
自己資本比率	10.45	10.67	10.49	▲ 0.18

